

デジタル田園都市国家構想交付金
及びまち・ひと・しごと創生寄附活用事業実施報告

資料1-1

1. 事業の概要

事業名	B i z を中心とした地域内チャレンジ促進事業
計画期間	令和2年度～令和6年度（5カ年）
総事業費 （うちデジタル田園都市国家構想交付金及び地方創生応援税制適用の寄附額）	170,823千円 （デジタル田園都市国家構想交付金：85,411千円） （地方創生応援税制適用の寄附額：10,000千円）
全体事業の概要	本市の地域企業の稼ぐ力（付加価値）を向上させ、地域経済や課題解決を担うプレーヤーを増やすため、地域の支援力を強化するとともに、地域外の人材スキルを企業経営に導入する仕掛けづくり、さらに創業を促進させるための機会創出や、地域内への創業誘導施策の実施等、様々な施策を一体的に展開する。
事業の内容	＜地域企業の活力発揮に向けた支援強化＞ 1. チャレンジの支援拠点「B i z」の開設・運営 2. 地域外（都市部）の人材と、地域の「仕事」とのマッチング ＜地域に新たな仕事を生み出すための支援＞ 3. B i zによる支援 4. 創業のチャレンジ機会の創出 ＜地域内における消費機会の多様化を目指した支援＞ 5. 空き店舗情報の集約・発信の工夫 ＜住民満足度の向上を目指した地域課題の解決主体の育成＞ 6. B i z と行政の連携による地域課題解決主体の育成

2. K P I（重要業績評価指標）

年 度	R 2	R 3	R 4	R 5	最終年度目標値
B i zにおける相談 件数	1 4 7 件	8 1 1 件	8 4 1 件	8 1 3 件	令和6年度に1, 1 0 0 件
事業による女性・シ ニア層の創業相談件 数	8 件	3 3 件	1 5 件	4 6 件	令和6年度に4 6 件
事業による創業の実 現割合（創業件数/ 創業相談件数）	1 6 . 6 %	2 8 . 0 %	0 %	3 0 . 0 %	令和6年度に4 0 %
事業によって生まれ た地域課題解決分野 の新規事業件数	0 件	0 件	0 件	0 件	令和6年度に5 件

※K P Iは「地域再生計画」の数値で、総合戦略のものとは異なる。

3. 事業経費の内訳

計画名	事業内容	経費内訳
B i zを中心とし た地域内チャレン ジ促進事業	中小企業支援センター運営費（委託）	委託料 2 8 , 9 9 9 , 0 7 3 円
	高校生起業家育成プログラム実施業務（委託）	委託料 1 , 7 9 8 , 5 0 0 円
	空き店舗情報サイト作成業務（委託）	委託料 4 5 1 , 0 0 0 円

4. 事業の成果および今後の方針

担当課	成果および今後の方針
産業観光課	令和3年2月末にセンターを開設し、プレオープン期間（計10日間）を含め、令和5年度末までに2, 6 1 2 件の相談に対応した。 しかしながら、令和5年度は、センター長の前年度末での辞任に伴い、センター長不在期間が約6カ月生じてしまった。当該期間も相談者への支援を継続すべく、オンライン相談やコーディネーターの活用、セミナーの回数を増やすなどの対応を行った。 新センター長着任後は、小出宗昭氏によるカルテチェックや頻繁な情報共有により、B i zモデルに沿った相談品質の保証ならびに向上に努めた。事業者の売上向上に向けた戦略策定や戦術の実行をこれまでと変わらず伴走支援していく。 創業につながる支援事例も増加傾向にあり、引き続きセンターの周知や成果事例の発信に努め、創業者や未利用事業者等の利用を促すとともに、他の支援機関との連携推進や、地域での創業実現、事業継続に向けた取り組みを行っていく。 関連事業として空き店舗情報サイトも開設しており、B i zとも連携しながら、市内での創業につながる支援を行っていく。また、域内での起業における機運醸成のため、高校生起業家育成プログラムを実施し、若年層への訴求にも努めた。

1. 事業の概要

事業名	D i g i 田さかいで再生プロジェクト
計画期間	令和4年度～令和6年度（3カ年）
総事業費 （うちデジタル田園都市国家構想交付金）	162,426千円 （デジタル田園都市国家構想交付金：81,213千円）
全体事業の概要	本市の資源や強みを最大限に活かし、暮らしの満足度向上と、まちのイメージ転換を図る施策によって、「働くまち」と「住むまち」が両立できるまちづくりがポイントとなる。「住むまち」には、日々の暮らしの中で、満足感や幸福感を感じられるような「場所」「空間」「機会」がいかに多く存在するかが重要であり、若い子育て世代をターゲットとするほか、多様な世代が日常的に集い交流し、幸せを実感できるような居場所づくりを行う。
事業の内容	＜暮らしやすいまちの実現＞ ① 人工土地の歩行者空間を、中心市街地に位置するオープンスペースとして人々が集い安らげる場所となるよう広場および周辺の歩行者空間の整備を行う。 ② 整備した歩行者空間に面した人工土地1階の空き店舗において、「チャレンジショップ」を開設する。 ＜市民によるまちづくりの推進＞ ③ 坂出駅周辺活性化整備計画に意見を反映するため、高校生や大学生によりワークショップを行う「さかいで未来会議」を設置するとともに、関連する分野の有識者などで構成する「さかいで再生会議」を設置する。 ④ 坂出駅周辺活性化整備計画作成などの事業において、専門的な知見と経験を活かし、より効率的かつ効果的な事業推進を図るため、地方創生アドバイザーを導入する。 ⑤ 都市基盤整備の基礎調査、市民アンケート調査、市民ワークショップ等から、市民の要望や現状を把握し、坂出駅周辺活性化整備計画を策定する。 ⑥ 本事業の成果について、従来手法のパンフレット等の広報だけではなく、SNSを活用するとともに、YouTubeによる動画配信を行い、市民や関係者に向けて、広く周知する。 ＜官民連携の推進＞ ⑦ 施設の整備にあたり、民間企業のノウハウや資金支援を含めて官民連携となるPPP/PFI手法を検討し、機能や効果を最大限に高め、市民の満足度や行政の効率化を図るため、PPP/PFI手法導入優先的検討規程の作成と庁内での的確な運営体制の構築に向けた事業実践研修を行う。

２．ＫＰＩ（重要業績評価指標）

年 度	R 4	R 5	最終年度目標値
坂出駅周辺におけるイベント回数	24回	41回	R6年度までに16回
チャレンジショップの応募件数	0店舗	0店舗	R6年度までに5店舗
市民ワークショップの参加人数	26人	87人	R6年度までに60人
PPP/PFI手法導入優先的検討規定の運用件数	0件	0件	R6年度までに1件

※KPIは「地域再生計画」の数値で、総合戦略のものとは異なる。

３．事業経費の内訳

計画名	事業内容	経費内訳
D i g i田さかいで再生プロジェクト	坂出駅前の拠点施設を考えるワークショップ運営業務	委託料 330,000円
	令和5年度坂出市中心市街地活性化公民連携事業における事業者選定支援業務	委託料 825,000円
	坂出市民ホール前広場整備工事	工事請負費 117,890,300円

４．事業の成果および今後の方針

担当課	成果および今後の方針
公民連携・DX推進課	坂出駅周辺再整備基本構想の実現に向けた取り組みのなかで、市民ニーズの把握のため重点地区に位置付けた坂出緩衝緑地、坂出駅前エリアにおける複合施設についてワークショップを開催した。 また、公募に際しては、民間事業者と対話を重ね、それらの結果を踏まえ、PFI法に基づく特定事業の選定を行い、事業内容や整備水準等を定めた募集要項および要求水準を公表し、今後のまちづくりのパートナーとなる事業者の公募を開始した。 その他、坂出再生に向けた新たなまちづくりに係る事業として、市民ホール前広場を、芝生化やウッドデッキの設置等により人々が集い、安らげるオープンスペースとして再整備を行った。 今後も引き続き、坂出駅周辺再整備基本構想をもとに市民や民間事業者など、多様な主体との連携や協働により、持続可能なまちづくりを行う。